

各関係機関の長
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和2年度病害虫発生予察注意報第1号について

令和2年度病害虫発生予察注意報第1号を発表したので送付します。

令和2年度病害虫発生予察注意報第1号

発生量の増加により被害の発生が懸念されます。
防除対策の徹底を図りましょう。

- 1 病害虫名 : タバココナジラミ
- 2 作物名 : 冬春ピーマン
- 3 発生地域 : 県下全域
- 4 発生量 : 多
- 5 注意報の根拠

- 1) 4月中旬の巡回調査における発生面積率は45.5%（前年25.0%、平年11.1%）（図1）で平年比多、100葉当たり虫数は3.6頭（前年1.1頭、平年0.6頭）（図2）で平年比多であった。
発生面積率、100葉当たり虫数ともに過去10年で最も高くなっている。

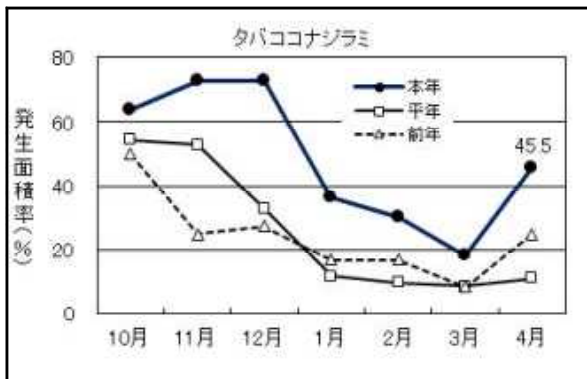


図1 発生面積率の推移

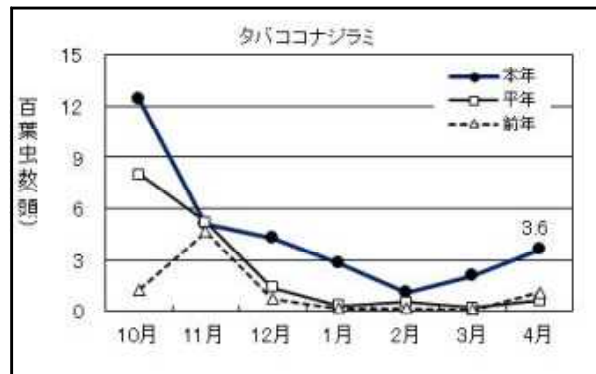


図2 100葉当たり虫数の推移

6 防除上の注意

- 1) 多発してからでは防除効果が低くなるため早めに防除する。
また、薬剤散布後は防除効果に注意を払い、必要に応じて適宜追加防除を行う。
既に発生が多いほ場では、2～3回の連続散布を行う。
- 2) 有効な薬剤に対する抵抗性の発達を回避する観点から、同一系統薬剤の連用は避け、ローテーション散布を心がける。
また、抵抗性発現の可能性が低い微生物農薬や、タバココナジラミを物理的に窒息死させる気門封鎖剤を利用する。
- 3) 次作の発生密度低下につなげるために、栽培終了前には残渣・雑草の処理、施設の蒸し込み等により、施設内の本虫の処分対策を徹底する。

7 その他

その他詳細については、西臼杵支庁・各農林振興局（農業改良普及センター）、総合農業試験場生物環境部、病虫害防除・肥料検査センター等関係機関に照会してください。

(参考)



図3 幼虫と成虫（H15年撮影）



図4 成虫（H15年撮影）

宮崎県総合農業試験場病虫害防除・肥料検査課
（病虫害防除・肥料検査センター）椎葉、松浦
TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127
E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp